

柴田町の地域学校協働活動

1 今年度の事業への取組について

柴田町教育委員会では、平成23年度から実施してきた「柴田町協働教育プラットフォーム事業」を引き継ぎ、家庭・地域・学校の協働による教育活動を通じた家庭・地域の教育力の向上や学校教育の充実、子供たちの健全育成や地域住民の自己実現と社会参画の推進を目的とした「柴田町協働教育推進事業（地域学校協働活動推進事業）」を実施している。

2 地域学校協働本部について

平成26年度から設置している柴田町協働教育推進委員会を、平成29年度から地域学校協働本部と位置付けし、委嘱された推進委員が年2回、事業の方向性や現状、課題等を共有している。また、平成26年度からコーディネーターを配置。平成30年度からは経験豊かな地域コーディネーターを統括コーディネーターに委嘱し、令和元年度からは地域学校協働活動推進員として、統括コーディネーターと地域コーディネーターによるコーディネート体制の組織化を実現。学校並びにボランティアがともに目的を共有できるよう工夫し、両者の負担を軽減した結果、地域学習や地域貢献活動等、子供たちが地域の「もの・こと」と関わる活動まで広がりを見せている。

3 事業紹介

(1) 家庭教育支援活動

事業名	内容	備考
子育て・親育ち講座	町内各小学校の就学時発達検査の待ち時間を活用し、家庭における基本的なしつけの重要性について保護者が学ぶ機会を提供。 ◆作成・指導：県家庭教育支援チーム協議委員 中保良子氏 ◆講師：県家庭教育支援チーム地域実践 リーダー 柴田町子育てサポーター「すきっぷ」 佐々木恵美氏	柴田町子育てサポーター「すきっぷ」には講話講師に加え、講話サポートやアイスブレイク、子供の見守りを依頼。 会場：町内6小学校（予定）
男性向け家庭教育講座	父子のふれあいや父親の積極的な育児参加を促すとともに、父親同士の交流を深めながら子育てについて楽しく学ぶことをテーマとした講座を開催。 ◆テーマ：かけっこ教室・写真講座 ◆講師：有限会社まくたスタジオ 幕田浩和氏 はびまま整体-そらの和- 目黒剛史氏	【参加親子3組7名】
親のみちしるべ 出前講座	宮城県版親の学びのプログラム「親のみちしるべ」を活用し、子育て中の親同士等が交流を図りながら親自身の気づきや子育てについて学び合うための出前講座を開催。	【申込2件】

<p>子育て・親育ち 思春期講座</p>	<p>中学校入学説明会を活用し、保護者に子供の中学校入学前の心構えとして、思春期の特徴や親としての関わり方を学ぶ機会を提供。 ◆作成・指導：県家庭教育支援チーム協議委員 中保良子氏 ◆講師：県家庭教育支援チーム地域実践 リーダー 柴田町子育てサポーター「すきっぷ」 佐々木恵美氏</p>	<p>会場：町内4小中学校（予定）</p>
<p>「子育て支援ネットワーク協議会」を通じた連携と情報交換の強化</p>	<p>子育て支援に関する事業の企画・立案や柴田町子育てサポーターの養成・派遣、関係機関・施設間の連絡・連携体制の強化を図ることを目的に年4回開催。 ◆事務局：子育て支援センター</p>	<p>構成員13名（子ども家庭課、健康推進課、生涯学習課、幼稚園、保育所、児童館、社会福祉協議会、子育てサポーター、子育て支援センター（事務局））</p>



【男性向け家庭教育講座】



【親のみちしるべ出前講座】

(2) 地域活動

事業名	内容	備考
<p>柴田町子どもフェスティバルの開催</p>	<p>子ども会育成会連絡協議会、柴田町教育委員会の共催事業。子供が一堂に会し、地区子ども会等が設けた遊びのコーナーで様々な体験をする。異年齢集団や異世代間、親子の交流の場を提供する。</p>	<p>【来場者 269名】</p>
<p>ジュニア・リーダーの育成</p>	<p>子ども会活動の活性化、次世代のリーダーを育成。初級研修会・町技術研修会の実施。中級・上級研修会への参加。子ども会活動、子どもフェスティバルへの派遣。姉妹・歴史友好都市シニアリーダー研修・交流会の実施。定例会・自主企画イベントの開催。 在籍数：高校生10名、中学生3名 計13名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初級研修会 開催予定 ・中級研修会 参加1名 ・上級研修会 参加2名 ・町自主企画 3月開催予定



【ジュニア・リーダー定例会】



【子どもフェスティバル】

(3) 学校支援活動

事業名	内容	備考
しばたっ子応援団(学校支援ボランティア)の派遣	学校の支援要請に応じて「しばたっ子応援団(学校支援ボランティア)」を派遣する。 この活動は、地域と学校が連携・協働して、幅広い地域住民の参画により、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域の人と人とのつながりをつくることを目的としている。	・登録者数(1月現在) 個人44名、任意団体23団体(245名)、事業所等49事業所 計289名(延べ人数)
キャリア教育支援 ①職場体験学習受入 事業所等と学校との 連絡調整 ②キャリアセミナー(職業人の話を聞く会)の開催	町内中学校が推進する「志教育」、「進路指導・キャリア教育」等の教育活動を教育委員会や地域が支援する体制を整備し、学校教育の充実を図る。 ①町内3中学校の職場体験学習の実施にあたり、学校支援活動事務局(生涯学習課)が窓口となり、町内の事業所等に職場体験学習の受入依頼、連絡調整を行う。 ②学校、教育委員会との協働により、町内外の様々な職業人との車座によるふれあいや講話を通し、進路に関する意識を高め、今の学校生活が将来の生活に結びついていることを確認する機会をつくる。	① 引受事業所数58事業所 ② 参加予定講師数 ・船岡中1学年:22名 ・槻木中1学年:15名 ・船迫中1、2学年:20名
協働教育推進委員会(地域学校協働本部)の開催	平成26年4月より設置。年2回開催。地域学校協働本部として、協働による教育活動を通じ家庭・地域の教育力の向上を図るとともに、学校教育の充実や子供たちの健全育成、住民の生きがいや、やりがいづくりを推進する。また、委員相互の連携を深めながら情報を共有し、より良い地域学校協働活動推進のために資質の向上を図る。	校長会担当校長、町内小中学校地域連携担当教諭、教育委員会各課・生涯学習施設職員、しばたっ子応援団員、生涯学習課職員(事務局)の計26名で構成

しばたっ子応援団(学校支援ボランティア) 研修会	地域と学校が連携・協働した教育活動の充実に向け、学校のニーズに合った活動のボランティアの役割を再確認する。また、学校とボランティアの交流・情報交換を通じ、協働することの有効性の共通理解を高め、地域全体で子供たちの健全育成を図る。	8月1日開催 参加37名：協働教育推進委員(地域学校協働本部員)、しばたっ子応援団員、地域学校協働活動に関心のある教職員等
--------------------------	--	--



【しばたっ子応援団の派遣】



【職場体験学習】



【しばたっ子応援団研修会】

4 成果と課題

(1) 成果

①家庭教育支援活動

- ・今年度も全校で「子育て・親育ち講座」及び「子育て・親育ち思春期講座」を開催予定である。「子育て・親育ち講座」では個人ワークの時間を設けることで、アンケートの満足度の増加が見られた。また、町内の育児サークルから「親のみちしるべ出前講座」の申し込みがあり、子育てサークルの活動もコロナ前のように活発になってきた。
- ・町内の幼保児小中、子育て支援センター、子ども家庭課、健康推進課、社会福祉協議会との連携、情報交換を密にすることにより、町として効果的な家庭教育支援体制を構築することができた。

②地域活動

- ・ジュニア・リーダーの派遣依頼を多くいただき、少しずつ活躍の場が増えた。また、研修会や活動等を通じ、ジュニア・リーダーの資質向上を図ることができた。
- ・4年ぶりに柴田町子どもフェスティバルを開催することができた。町内の児童が楽しむ顔を見ることができ、子ども会や育成会、ジュニア・リーダーなどの活躍の場として充実したものとなった。

③学校支援活動

- ・学校からコーディネーターへの相談がきっかけとなり学校支援活動につながるが増えてきた。また、他の学校で実施している活動を自分の学校でも取り入れるといった協働教育推進委員会で横のつながりをつくってきた成果が見られ、地域学校協働活動の推進体制の強化が形となってきていると感じた。

(2) 課題

関わっていただいているボランティアの高齢化による担い手不足などの課題はあるが、事業所のしばたっ子応援団員を増やすことで、今後も継続して地域学校協働活動を実施し、児童・生徒に切れ目なく、安定した学習の機会を提供することができるように、関係機関と協議・連携し、事業展開を図る。

柴田町 柴田町立槻木中学校(総合的な学習の時間) 「槻木の歴史を未来へつなげよう」

○市町名 柴田町

○学校名 柴田町立槻木中学校

○期 日 令和5年11月7日(火)

○内 容

総合的な学習の時間(1学年)

「槻木の歴史を未来へつなげよう」

※8つに分かれるコース別学習

- ・槻木に関する知識を深め、郷土と自分とのつながりについて考える。
- ・地域の方々とのあたたかな人間関係を築き、よりよい学校生活を送ろうとする気持ちを育てる。

○講 師

小玉 敏氏・後藤 彰信氏・鈴木 豊氏・

佐藤 サツ子氏

上川名地区活性化推進組合(平間 つや子氏・

大沼 あけみ氏・大沼 貞子氏・平間 幸弘氏)

柴田町さくらの会(会長:平間 誠貴氏)

柴小学区子ども育成会(代表:加藤 秀明氏・

加藤 孝子氏・我妻 千鶴子氏)

しばたの郷土館(班長:畠山 未津留氏)

ほっとファーム株式会社

(営業部長:柿境 厚子氏・他職員のみなさん)

○生徒の声

【「郷土料理」×「人」】

- ・ずんだもちを、もっと美味しく作る味付けの工夫が分かりました。みんなを笑顔にする美味しいずんだもちが作れたので良かったです。今度は家で作って、おうちの人にも食べさせてあげたいと思います。



【「人々の暮らしといのり」×「人」】

- ・槻木には、まだまだ知らない歴史があるのだなあと思いました。これから、もっと学んでいきたいです。



【「槻木のまちの中の歴史」×「人」】

- ・意外に、昔の名残があるんだなと思いました。この活動がきっかけで、社会(歴史)が好きになりそうです。とても楽しかったです。

【「自然」×「人」】

- ・地域の人たちが、労力とお金をかけて柴田の自然を大切に守っていることが分かりました。竹のけん玉作りもみんなで教え合って協力できたので、良かったです。

【「花」×「人」】

- ・サツ子さんが看病していたお母さんに、お花を見せてあげたら、とても喜んでくれたそうです。花は、人を元気にさせ、喜ばせてくれる力があるのだなと思いました。サツ子さんの年齢で、こんなに大きな庭がつかれることも、すごいなあと思いました。



【「桜」×「人」】

- ・桜の花はきれいだというだけで、それ以外のことは、何も知りませんでした。今回の活動で、桜のことをたくさん知ることができて、充実した体験になったと思います。

【「ゆず」×「人」】

- ・ゆずは、収穫するまでに手間がかかり、収穫量が少ない年もあるそうです。また、ゆずにはトゲがあるので、収穫するのも大変だそうです。今日はゆずの使い方を教えていただいたので、これからゆずの魅力を伝えていきたいです。



【「地域」×「人」】

- ・地域の人が自由に交流できる場所、それがほっとファームさんです。地域の方はもちろん、障がい者の方も、楽しく食事をして、イベントに参加できる場所が槻木にあるということは、とてもいいことだと思いました。

○講師から

- ・作っている最中に、子供たちがいろいろ聞いてくれて、覚えようとする姿がすごく良かったです。調味料の加減など、こちらもとても勉強になりました。(上川名地区活性化推進組合：平間 つや子氏)
- ・「家の手伝いで包丁を使用しています」「初めて野菜を切りました」など、作業中に自分のことを話してくれたので、楽しく活動ができました。ずんだが苦手だった子も、「自分が手をかけて作るとおいしい」と、言ってくれてこちら嬉しく思いました。(上川名地区活性化推進組合：大沼 あけみ氏)

- ・仕事で高校生以上の子供たちと関わることはあったのですが、中学生との活動は初めてでした。とても素直な子供たちで、真面目に活動してくれたことに感激しました。草花に触れる子供たちと一緒に活動する機会をいただき、とても楽しかったです。

(佐藤 サツ子氏)

- ・少人数での活動だったので、子供たちとしっかり向き合うことができ、子供たちも活動しやすかったようです。仲間と協力し合う姿から達成感も感じられ、和やかな雰囲気でした。子どもたちの笑顔が最高でした。(柴小学区子ども育成会：加藤 秀明氏 (代表))

- ・「学校終わったら遊びに来る！」という中学生のちょっとした言葉や、芋煮をたくさんおかわりする姿など、素顔が見える度にかわいいなあと、温かい気持ちになりました。ほっとタウンが、この子供たちの居場所の一つになれば嬉しいです。いつでも welcome です！！(ほっとファーム (株)：柿境 厚子氏 (営業部長))



○教職員の声

今回初めての試みでしたが、8コースそれぞれで子どもたちは、大変満足のいく体験ができたようです。地域の方々との交流もでき、素敵な活動をさせていただきありがとうございました。

○教育事務所から

生徒に地域との交流を経験させたいという先生方の熱い思いと、生徒のために協力を惜しまない地域の方々の深い愛情が見事に調和し、関わるすべての人が笑顔になるすばらしい活動でした。

柴田町立船岡小学校

〒989-1604
柴田郡柴田町船岡東 1丁目2番60号
Tel 0224-55-1064
Fax 0224-55-5185
児童数 505名
P会員数 407名

学校教育目標

豊かな心を持ち 自ら考える たくましい児童の育成

児童の頑張りを応援する合言葉 **いい知恵(知) いい汗(体) いい笑顔(徳)**

特色の活動教育

<p>外国語活動の推進 ～専門先生が大活躍～</p>  <p>英語専科、ALTによる授業 個別指導やALTによる授業で意欲・ 関心を高め、自主的な英語体験、英語 教室等にも積極的に参加しています。</p>	<p>志教育の推進 ～地域貢献への意識向上～</p>  <p>クリーン作戦(地域清掃) 体験活動を積極的に取り入れ、 「がわかる」「もてる」「はたす」の 意識から取り組んでいます。</p>	<p>ふるさと教育の推進 ～産地産物や人形の手形～</p>  <p>「雨乞の柚子」生産者から学ぶ ふるさと教育を通して、身近な地 域に誇り、郷土に誇りを捧げよう と活動に取り組んでいます。</p>	<p>確かな学力の育成 ～ICT機器の効果活用～</p>  <p>個の学びを生かす取組 一人一台のタブレットなどICT 機器を多様な教科や場面で活用 し、学力向上を目指しています。</p>
--	--	--	--

柴田町立槻木小学校

〒989-1758 宮城県柴田郡柴田町槻木駅西 2-14-1
TEL 0224-56-1029 Fax 0224-56-4617
児童数 452名
PTA会員 353名

地域と連携した教育活動(読み聞かせ、総合的な学習の時間、ゲストティーチャー)

 <p>読書ボランティアの方の協力により、読 み聞かせを行い、児童の読書への関心を高 め、豊かな心を育てています。</p>	 <p>農家の方々の協力を得て、田植えや稲刈 りなどの活動を行い、地域や自然を愛する 心情を育てています。</p>	 <p>「しばたっ子応援団」からゲストティーチャー を招いて学習を行い、自分たちの町の未来につ いて考え、自分たちに行えることを行っています。</p>
--	--	--

柴田町立柴田小学校

児童数 46名
P会員数 39名
〒989-1761 柴田郡柴田町大字柴坂字船泊内 30
Tel:0224(56)1430 FAX:0224(56)1618

伝統を引き継ぐ「大黒舞」 田んぼの学習 書きぞめ指導 ボランティア感謝の会

 <p>地域の伝統芸能「大黒舞」を地域の 方々から教わって引き継いでいます。</p>	 <p>地域の方に田植えや稲刈りを教わ り、食や環境について考えたいです。</p>	 <p>地域の方々に書きぞめを教わっ ています。</p>	 <p>1年間お世話になった方々をお招 きして、感謝の会を行っています。</p>
---	--	---	--

柴田町立船迫小学校

〒989-1622 宮城県柴田郡柴田町西船迫三丁目1の3
電話 0224-55-5394 FAX 0224-55-1262
児童数346名 PTA会員数262名

地域と協働して開かれた学校づくりに努める

学習支援ボランティア 安全ボランティア 福祉体験活動

 <p>「しばたっ子応援団」の支援を受けて 「ミシンの使い方」を体験して学んだ。</p>	 <p>地域の皆様に毎日、児童の登下校時の 安全を見守っていただいている。</p>	 <p>社会福祉協議会の方に御支援をいた だき、「車椅子」のしくみを学んだ。</p>
---	--	---



〒989-1606
宮城県柴田郡柴田町大字船岡字大住町16-1
電話 0224 (53) 3227 || FAX 0224 (52) 0615

児童数 124名
P会員数 91名

地域と連携した教育（協働教育）活動



地域貢献活動
高学年児童は地域の清掃活動に取り組みます。4年生は、畑裏に交差活動動線を毎年実施しています。低学年は、公園の花壇の花植えを地域の方と一緒にしています。3年生は、プランターに植えつけた花を公民館などに贈っています。



仙台大学との連携
仙台大との連携により、体力・運動能力向上の補助や元気いっぱいしばば体験の指導など、コロナ禍に入ってからも継続して取り組んでいます。



放課後学習室
柴田町教育委員会と連携した「放課後学習室」には、例年40名ほどの児童が参加しています。毎週水曜日と金曜日の放課後、それぞれの学習課題を持ち寄り、進んで学習に取り組んでいます。



しばたっ子応援団
ボランティア組織「しばたっ子応援団」から、茶道体験、木工教室、樹木の剪定等、様々な形で学校の支援をいただいています。地域の方々との交流が心を育む環境づくりにつながっています。

家庭で育み、学校で教えて育て、地域で育てる“地域とともに歩む学校”を目指して



〒989-1611 宮城県柴田郡柴田町大字上生字下中川93-1
TEL 0224-55-1811 FAX 0224-55-2515
児童数 244名
P会員数 189名
職員 18名

読書支援 防災安全支援 学習支援 東船岡秋祭り



読書支援
読書タイムの読み聞かせや、図書室運営協力（蔵書・図書環境整備）を行っています。



防災安全支援
下校時に地域の方が通学路で安全を見守る活動をしています。



学習支援
地域の方が講師となったり、仙台大学学生が学習を手伝ったりしています。



東船岡秋祭り
児童とPTA、地域の方が一体となって「東船岡秋祭り」を開催しています。

柴田町立船岡中学校 (Shibata Town立 Funaga Junior High School)

教育目標：豊かな品性・強い心身・確かな知性をそなえた生徒の育成



〒989-1606 宮城県柴田郡柴田町大字船岡字七作26 TEL 0224-55-1162 FAX 0224-55-5444
URL <http://www.funaga-hs.shibata-tam.ed.jp/> E-MAIL info@funaga-hs.shibata-tam.ed.jp 生徒数 444名 P会員数 407名



職場体験学習 (志教育)
総合的な学習の時間では、3年間を通してキャリア教育を中心に志教育の視点である「かかわる」「もとめる」「はたす」を具体的に実践しています。



地域体験学習 (ふるさと教育)
「花のまち柴田」をふるさととする生徒に、「まぐろ」の楽しさを体験させ、ふるさとを伝えるられる地域の育成を目指した取組です。学年の運動会にもつなげています。



防災学習 (安全教育)
安全教育として総合的な学習の時間に防災学習を行っています。写真は町の社会福祉協議会と協働した授業の様子です。



〒989-1757 宮城県柴田郡柴田町槻木東2-3-1
TEL 0224-56-1331 FAX 0224-56-4267
生徒数 266名
P会員数 248名



ボランティア活動
ボランティア活動で使用する竹ぼうきの竹を地域の方とりました。



職場体験
地域の産業を様々な職場で経験しました。



地域の教育力
1年生の学習で、自分たちの住む地域の歴史を地域の方から学びました。



柴田町立船迫中学校

〒989-1622 宮城県柴田郡柴田町西船迫4-1-2 生徒数 203名
TEL 0224-54-1225 FAX 0224-54-1226 P会員数 186名



手づくりぼうきで地域清

地域理解と地域へ貢献する心の育成を目的に、柴田町学校支援ボランティア「しばたっ子応援団」からご指導をいただいて「竹ぼうきづくりを通じた地域への奉仕活動」を行う。



ラベンダー事業

校地内のラベンダーで作ったラベンダースティックやポップリを公共施設へ配布する。地域人材を活用した地域貢献活動。



キャリア教育セミナー

柴田町生涯学習課の協力を得て、地元の職業人を講師に迎え、将来をテーマに研修会を開催。約20名の講師に本校いただき視野を広げる。

川崎町の地域学校協働活動

1 今年度の事業への取組について

本町では、地域全体で子供を育むために、家庭・学校・地域をつなぐ仕組みをつくり、協働による教育活動を通じて、家庭・地域の教育力の向上を図り、協働教育を一層充実させることを目的に「かわさきっ子応援団」を組織し活動しています。

今年度も家庭教育支援、地域活動支援、学校教育支援の3つの活動を軸に、豊かな自然環境を活かした地域の特色ある協働教育活動を展開していきます。

2 地域学校協働本部について

※地域学校協働本部は未設置

3 事業紹介

(1) 家庭教育支援

事業名	内容	備考
家庭教育サポートチームの設置	町内の子育てサポーターとの定期的な情報交換を行い、子育てサポート状況を把握・推進する。	幼児教育課・子育て支援センター職員と連携 各種講座・研修会へ参加
「おひさまカフェ」(子育てカフェ)の開催	子育て中のママと子供たちに、子育てサポーターが体験活動を通じた親と子のふれあいの場を提供する。子育てに関する不安を和らげ、親の育ちのきっかけづくりを行う。	公民館講座として開催 子育てサポーター6名 年2回開催
家庭教育学級 幼児教育学級	学校・PTAが主催する家庭教育・幼児教育講座の支援。	研修会、講演会等の講師に支払う講師謝金の補助
スポーツ少年団交流会	スポーツ少年団の団員交流会を通して、子供たちだけではなく、指導者・母集団同士の連帯意識を強める。	スポーツ少年団体：6団体
親子バレーボール大会	バレーボールを通して親と子の対話を深め、友情や連帯感等の社会性を身に付け、体力の向上を図る。	低学年・小学生の大会を実施 ボールは家庭バレーボールを使用



子育てサポーター活動



スポーツ少年団交流会



親子バレーボール大会

(2) 地域活動支援

事業名	内容	備考
教育講演会の開催	夢の実現に向けて、確かな学力と生きる力の育成を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・志教育講演会 ・学びの支援講演会 	児童生徒及び保護者対象
地域資源を活用したプログラム	豊かな自然環境の中での体験活動を通じた郷土愛の育成を推進する。 <ul style="list-style-type: none"> ・小学生わくわくデイキャンプ ・6学年親子キャンプ ・カヌー&SUP体験 	
世代間・異年齢交流	子供から大人まで年齢を問わない相互の交流・親睦を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・かわさき朗読会 ・川崎レイクサイドマラソン (運営ボランティア活動) ・中学生保育実習 ・幼高さつまいも苗植え交流 	
ジュニア・リーダー事業	ジュニア・リーダーとしての資質の向上 (中学生・高校生対象) <ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会への参加 ・管内交流研修会等への参加 ・地域活動への参画 ・自主企画行事の計画・運営等 	川崎町ジュニア・リーダー サークル P・T・E 会員数：高校生18名 中学生 7名 (令和6年1月現在)



J・L初級研修会



BG塾支援



J・Lハロウィンパーティー



マラソン大会ボランティア



J・Lクリスマス会



J・Lの地域活動

(3) 学校教育支援

事業名	内容	備考
本の読み聞かせ	児童への本の読み聞かせ ・ボランティアの活動 ・サークル「絵本ママ」活動	各小学校、こども園等 朝の学活の時間帯実施
校外学習活動	校外における学習活動への支援 ・役場見学（議会体験） ・町探検学習 ・清掃活動（ゴミ、空き缶回収） ・そば打ち交流会 ・社会見学等補助 ・スキー・そり教室支援 ・収穫祭（地域交流） ・史跡案内（山城見学・土器拾い）	地域ボランティアが活動支援 ・かわさきこども園 ・富岡幼稚園 ・川崎小学校 ・川崎第二小学校 ・富岡小学校 ・川崎中学校 ・富岡中学校
学習活動支援	学習活動への支援 ・戦争体験講話 ・部外活動講師派遣 ・昔あそび、しめ縄づくり ・農業体験学習支援 ・地域学習支援 ・防災教育支援	地域ボランティアが活動支援 こども園、幼稚園 小・中学校 放課後児童教室
セカンド・スクール事業	町内の施設が第2の学校、家庭の機能を果たしながら、子供たちが自然の中で様々な体験活動を行う長期集団宿泊事業 ・野外活動支援 ・レクリエーション指導 ・自然体験活動等	町内小学5年生を対象に実施 学校・家庭・大学・行政が一体となり事業を実施
水辺の安全教室 (水の事故ゼロ運動)	水辺における水難事故を自ら防ぐ学習活動と海洋性スポーツの楽しさの普及 ・紙芝居による解りやすい説明 ・着衣泳、ペットボトル浮遊 ・カヌー試乗体験	B & G 海洋センター職員が中心となった指導者会が講師として活動
伝承芸能指導	地域に伝わる伝統芸能の伝承を図るため、子供たちの興味・関心を促し、将来の担い手につなげる活動の推進 ・支倉豊年踊り練習 ・川内太鼓練習 ・支倉常長音頭 等	地域住民による伝承芸能の指導



防災教育（避難所運営体験）



施設見学（議会体験）



史跡案内支援（川崎要害地）



農業体験学習支援



職場体験支援



小学生わくわくデイキャンプ



セカンドスクール支援



地域学習活動支援（土器拾い）



すずらん採取

4 成果と課題

- 学校地域連携担当者との連絡体制の整備（連絡会議の定期的な開催）。
- 学校現場との情報交換を行い、授業づくりに役立つ支援対応を確立する。
- ボランティア登録者の活躍の場を拡大する。
- ボランティアの活動の場を「学校」のほかに、地域へと広げていく。
- ボランティア活動が「地域貢献」、「生きがい」、「人と人のつながり」、「町づくり」へとつなげていくこと。
- 町独自の視点で、協働教育を推進するための体制整備を図る。

■ボランティア登録者（令和6年1月現在）

個人	273名
団体	97名（8団体）
合計	370名

川崎町 川崎町立川崎小学校(総合的な学習の時間) 「届けよう 川小太鼓！」

○市町名 川崎町

○学校名 川崎町立川崎小学校

○期 日 令和5年11月8日(水)

○内 容

総合的な学習の時間(5学年)

「届けよう 川小太鼓！」

○講 師

川崎町立富岡幼稚園 教諭 佐藤 新吾 氏
(川内太鼓保存会員)

○児童の声

・私は、最初うでを挙げてたたくことができなかったです。でも、しんご先生がたいこをたたいている姿が「かっこいいな。」と思って、うでを上げるのをがんばりました。そして、本番ではうまくできたのでよかったです。

(相原莉那さん)

・私は、しんご先生にたいこをたたく姿勢や表現の仕方を教えてもらいました。たたく姿勢ではこしを低く、手をのぼしながら左右にゆらしながらたたき、表現では自分の気持ちでたいこの音がかわるようになりました。

(丹野芽星さん)



・私は、最初は声が出なくて音が合わないことが多かったけれど、声を出したらずれることがなくなってきました。やっぱり声を出すことは大事だなあと思いました。

(坂上莉徠さん)

・私がしんご先生に学んだことは、うまくできなくてもあきらめないということです。最初はなかなか自信が持てずに、うまくできませんでした。でも、しんご先生も最初はあまりできなかったと聞いたので、私もあきらめずにがんばってやればうまくできると思いました。本番では、成功したのでうれしかったです。

(石井希和さん)



・ぼくはしんご先生に声の出し方を教えてもらいました。最初のころは声が出なかったけど、しんご先生に教えてもらって日があつごとにできるようになりました。そして、本番では声が出ていたと親に言われて、うれしかったです。

(鈴木柊音さん)

○講師から

私の指導目標として、今年度は川崎町の子供たちに、和太鼓を通して志を持つことの大切さを伝えたいという思いで、川小太鼓指導に行ってきました。

指導初日は、話の中で児童との距離を感じ、どうか私に関心を持ち、話を聞いてもらうために何が必要かを考えさせられました。そこで、私がこれまで培ってきた太鼓表現を披露したところ、太鼓の迫力と表現に驚いたのか、それ以後の指導では、回を重ねるごとに目付きが変わり、最終日には自信に満ち溢れた素晴らしい太鼓を演奏する姿を見せられて感無量でした。今までにない、人の心に突き刺さる太鼓の音色と共に、児童の達成感が私に伝わってきました。人として大きく成長することができた今年度の太鼓指導でした。

一つになれた5年生に大きな拍手を。

(佐藤 新吾 氏)



○教職員の声

新吾先生からは5回指導していただきました。始めは、段ボール太鼓でのリズム打ちからでした。ひたすら毎日練習した結果、リズムは覚えることができました。

でも、なかなか上達しなかったのは、声を出すことと表現力でした。恥ずかしくてなか

なか声を出すことができない子供たちでしたが、新吾先生に「声を出すことは、応援していることだよ。太鼓を叩いている人は、声をなかなか出せないから、まわりの人が声を出してリズムを教えてあげるんだよ。」という話を聞いてからは、叩いている友達のために声を出すようになりました。

そして、表現力です。新吾先生が初めて太鼓を演奏してくださった時、とても迫力があり、子供たちは引きつけられるように見入っていました。気持ちによって音が違うこと、手の挙げ方、目力などたくさんのことを教えていただきました。それからの子供たちは、体全体で太鼓を叩くようになり、楽しんで太鼓を叩くようになりました。最初は、下を向いて話を聞いていた子供たちでしたが、練習を重ねるうちに、新吾先生の目を見て話を聞くようになりました。その姿からは、もっと上手になりたいという思いが伝わってきました。

お陰様で学習発表会は大成功に終わりました。教えていただいた新吾先生には、子供たち共々感謝の気持ちでいっぱいです。

(5年担任 大津 可南子先生)



○教育事務所から

講師の佐藤先生からは、太鼓の演奏方法だけでなく、志を持つことの大切さを伝えていただくことで、児童の内面の成長を引き出していただいたようです。発表会での堂々とした太鼓の披露は、聴いている人の心に大いに響いたことでしょう。



川崎町立川崎小学校



〒989-1501 柴田郡川崎町大字前川字館山西5-1
 電話番号 0224-84-2004 FAX番号 0224-84-4352
 児童数 198名 P会員数 153名

【サツマイモの栽培】  <p>農業技術指導員の方から指導していただき、サツマイモの栽培を行いました。収穫の喜びを味わいました。</p>	【川小の伝統の継承】  <p>地域の先生から学び、「川小太鼓」「常盤舞」を学童発表会や地域の祭りで披露しています。</p>	【スキー教室】  <p>地域の方々を講師にスキー教室を行い、川崎町の大自然の魅力を感じ、満喫しています。</p>	【食に関する指導】  <p>栄養教諭や管理栄養士の方から栄養素や食事の摂り方について学びました。</p>
--	--	---	--



川崎町立川崎第二小学校

協働で共に歩む学校



〒989-1502 宮城県柴田郡川崎町大字今宿字町尻1
 児童数 34名
 TEL 0224 (84) 2054 FAX 0224 (85) 1415
 P会員数 25名

ししなご登山  <p>全校児童、地域、保護者のボランティアの方も一緒に登ります。</p>	特産品の栽培  <p>種から栽培した「そば」を使ってそば打ち体験を行います。</p>	ししなごまつり  <p>子供たちが企画するお祭りです。保護者と地域の方と一緒に楽しめます。</p>	鎮守の森プロジェクト  <p>柴田農林高等学校川崎校の学生と共に、どんぐり拾い、植樹活動を行います。</p>
---	---	--	---



川崎町立富岡小学校



〒989-1507
 宮城県柴田郡川崎町大字支倉字川向49-5
 電話 0224 (86) 2003
 FAX 0224 (82) 8010
 児童数：54名 P会員：38名

地域と連携した教育活動
 家庭・地域・学校が目的を共有し、信頼関係のもとでそれぞれの役割を担う協働教育

各学年の授業  <p>防災教育や音導大体験、歯科保健指導、顔の整備など、各学年の授業でそれぞれ地域の方から教えていただき、充実した学習活動を展開しています。</p>	支倉豊年踊り  <p>支倉豊年踊り保存会の皆様に「支倉豊年踊り」を教えていただき、本校運動会や地域の「支倉常長まつり」で披露しています。</p>	幼・こ・小交流  <p>こども園・幼稚園児との交流により、園児の小学校へのスムーズな移行と、小学生のやさしい気持ちを育みます。</p>
---	---	--



川崎町立川崎中学校



全校生徒数：126名（1年50名、2年35名、3年41名）
 PTA会員数：117名
 〒989-1501 柴田郡川崎町大字前川字伊勢原12
 電話(0224) 84-2029 FAX (0224) 85-1695
 Email: kawasaki-jhs@samile.ocn.ne.jp

校訓 「自立貢献」
 学校教育目標：心豊かで、たくましく、主体的に学び、社会に貢献する生徒の育成

防災教育 (1A)  <p>防災学習として、1年生は震災遺構中浜小学校を見学します。語り部の方から当時の状況のお話を聞いたり、実際に避難した屋上へ上がり、太平洋を望むことで、今自分たちができる防災の在り方を考える取組をしています。</p>	職場体験学習 (2A)  <p>職場体験を2日間実施しています。町内の事業所の協力を頂き、産学では学べない様々な職業体験をすることで、地域の方から働く意義を学び、社会的・職業的自立に向け、基礎となる能力や態度を育みます。</p>	ボランティア活動 (3A)  <p>町最大のスポーツイベント「レイクサイドマラソン」に、3年生がボランティアとして参加します。選手受付や表彰係などの体験を通じ、川崎町の一員として地域を支え、社会に貢献する生徒の育成を目指します。</p>
--	---	---



丸森町の地域学校協働活動

1 今年度の事業への取組について

平成24年度から協働教育プラットフォーム事業委託を受け、教育基本方針に位置づけるとともに、これまで進めてきた学社連携・融合における事業等を協働の視点から再検討し、既存の組織や団体等と役割分担を図りながら事業を推進している。

子供たちの学習環境を整えるため、また地域住民が生涯にわたって学習を続けていくため、家庭・地域・学校が協働し教育環境を整え、「いつでも、どこでも、誰でも」学び続ける協働の社会を目指して事業の充実を図った。

2 地域学校協働本部について

平成元年から丸森町生涯学習推進協議会を設置しており、当町における生涯学習に関する必要な事項について協議し、町民の自主的・主体的な生涯学習活動の推進を図っていることから、本協議会が地域学校協働に関する評価及び検証を行う組織として位置付けている。

3 事業紹介

(1) 家庭教育支援

事業名	内容	備考
家庭教育セミナー	丸森町子ども会育成会、丸森町PTA連合会と共催。心豊かな健全育成を目指し、家庭教育の意義や重要性を認識し、家庭・学校・地域が連携して役割を果たすための共通理解を図ることを目的とした講演会を開催。 ・テーマ：「子供たちの笑顔あふれる未来を目指して」 ・講師：コーチング研修会社ドリームフィールド 代表 阿部 侑生氏	
家庭教育支援講演会等事業	家庭教育活動を推進するため、町内小中学校単位PTAで開催する家庭教育講演会を支援・推進し、保護者の学習活動の充実を図ることにより、家庭教育の向上を図る。 【館矢間小学校PTA】 ・テーマ：「落語」 ・講師：六華亭 遊花氏 【丸森小学校PTA】 ・テーマ：「東京五輪への道 その先へ」 ・講師：増田 成幸氏	
読み聞かせ活動の推進	家庭での読み聞かせ活動を定着させ、読み聞かせの機会を増やし、子供が幼児期から本と親しみ、読書の楽しさを感じられるよう、保護者に対して子供への読み聞かせの重要性や、読み聞かせの方法などを学び、家庭における読み聞かせ活動を推進。	こども園・保育所等と連携 社会福祉協議会と連携
子育て支援ボランティアの支援	社会福祉協議会と連携・協力し、情報提供等による支援。	



【 家庭教育セミナー 】



【 読み聞かせボランティア講座 】



【 家庭教育支援講演会 （ 丸森小 / 館矢間小 ）】



(2) 地域活動支援

事業名	内 容	備 考
出前講座による 地域学習活動支援	<p>地域の学習要望に応じ、地域人材や各種団体、役場職員等を講師として派遣し、地域における学習活動を支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツ、レクリエーション ・丸森町に伝わる昔話 ・健康講話 ・まゆ細工体験、そば打ち体験 ・ごみの分別講習 など 	
ジュニア・リーダー の養成	<p>子ども会の年少指導者であるジュニア・リーダーを養成し、ボランティアや地域活動を推進するため指導及び支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初級研修会の開催 ・中級研修会、上級研修会参加 ・山の子キャンプ活動の指導、支援 ・定例会活動の指導、支援 ・ボランティア活動の推進 ・子ども会や地域行事への派遣 など 	丸森町子ども会 育成会と連携

土曜学び塾の開催	<p>学ぶ意欲づくりと学力向上を目指すとともに、地域の人の関わりなどをおして豊かな人間性を育成する。</p> <p>対 象 者：小学校児童</p> <p>実施期間：6月から3月まで（毎週土曜日）</p>	
町営学習塾の開催	<p>予習学習による中学生の家庭学習の習慣化を図り、生徒自身が志を持ち、自らの夢の実現に向けた学習支援。</p> <p>対 象 者：中学校生徒</p>	



【 出前講座（ ニュースポーツ / 健康講座 ）】



【ジュニア・リーダー活動（初級研修会 / 山の子キャンプ）】



【土曜学び塾（竹あかり制作）】



【町営学習塾】

(3) 学校教育支援

事業名	内容	備考
ふるさと学習支援	地域の学習支援者と連携して、小学校のふるさと学習を支援。 ・伝統芸能（青葉田植え踊り、松掛神楽、） ・生産体験（米、へそ大根、干し柿、蚕） ・文化継承（齋理幻夜、佐野地織、丸森和紙、新相馬節）	
出前講座による学校教育支援	学校からの要望に応じ、地域人材や各種団体、役場職員等を講師として派遣し、様々な学習活動を支援。 ・創作活動（まゆ細工）	



【ふるさと学習（地織体験 / 干し柿作り）】



【出前講座（まゆ細工）】

4 成果と課題

- ・地域人材を積極的に活用した「出前講座」が学校や地域活動の場に定着しており、受講者だけでなく講師として派遣された地域の方々も地域の**子供たち**や住民の学習等に関われることに生きがいを感じていることから、相互作用による学習意欲の向上が図られている。令和5年度は36件の申請（1/10現在）があり、令和4年度の24件から大幅に増加した。今後も、活動に携わる地域住民や地域連携担当と意見を共有しながら、より良い事業のあり方を模索し進めていきたい。
- ・家庭教育に関しては、PTAの教育活動を支援する家庭教育支援講演会事業や家庭教育セミナーを行っている。家庭は、子供たちの健やかな育ちの基盤であり、家庭教育はすべての教育の出発点であることから、子育てや家庭教育を支える地域環境の変化に合わせた対応が求められているが、少子化により対象者が減少していることや、特定のボランティアに頼った活動が多いため、支援体制の充実と新たな人材の発掘が課題となっている。
- ・ジュニア・リーダーを志す**子供たち**の減少傾向が続き、派遣事業やこれまで培ってきた技術の伝承が課題となっている。様々な体験活動を通し、人との繋がりを育む活動の場に**子供たち**が興味や関心を持てるように、学校・家庭・地域との連携を今まで以上に強め、活動の場を多く提供していきたい。
- ・生涯学習課に協働教育班を新設し、令和4年度に統合された2つの小学校のふるさと教育支援に取り組んだ。これにより意図的・計画的に体験活動を位置付けることができ、探究的な学習の過程が充実させることができた。土曜学び塾運営、町営塾運営等と合わせ、さらに充実した取組になるように体制整備を進めていきたい。また、学校を支える各種団体の高齢化による後継者不足も課題とし挙げられており、改善策を模索している。

丸森町 丸森町立丸森小学校(総合的な学習の時間) 「青葉の田植え踊り」

○市町名 丸森町

○学校名 丸森町立丸森小学校 3学年

○期 日 令和5年10月18日(水)

○内 容

総合的な学習の時間

・「青葉の田植え踊り」の学習をとおり、地域の人々の思いを知り、地域の良さを引き継いでいこうとする意欲を育てる。

○講 師

青葉田植え踊り保存会

会長 荒 茂美氏(全体指導)

塩沼忠良氏(笛)

菅野一子氏(唄)

八巻充子氏、阿部尚子氏、

阿部美智代氏

(弥十郎、太鼓、鉦指導)

菅野郁恵氏、佐藤真優美氏

(早乙女踊り指導)



○児童の声

・踊り始めたころは、難しい動きがたくさんあってうまく踊れませんでした。保存会のみなさんに優しく教えてもらったことで、踊れるようになりました。学習発表会での踊りの発表も大成功させることができとても嬉しかったです。



・踊りを初めて見たときは、自分がうまく踊れるか自信がありませんでしたが、そんなときに保存会の先生方が優しい言葉で勇気付けてくれました。とても嬉しかったです。その言葉のおかげで学習発表会本番も自信を持って踊ることができました。



・保存会の皆さんから、田植え踊りの歴史や文化を聞いてとても驚きました。踊り自体もとても魅力的で、楽しみながら踊ることができました。田植え踊りのことをたくさん教えてもらったので、これからも大切にしていきたいです。



・僕は田植え踊りを保存会の皆さんと一緒に踊れたのがとても楽しかったです。たくさん練習にも来てくれていつも優しく教えてくれました。また保存会の皆さんと一緒に踊りたいです。



○講師から

昨年度に引き続き丸森小学校で「青葉の田植え踊り」に取り組んでくださったことに感謝申し上げます。

2年目の今年は、児童数が多いことと太鼓と鉦（かね）の演奏や「先代田植え」の踊りにも挑戦するというので、果たしてうまく伝えることができるだろうかと心配でした。でも、子供たちの熱意と元気な笑顔が私たちに力を与えてくれました。練習回数が少ない中、集中して練習に取り組んだ子供たちは一回一回大きく成長し、とても上手に踊れるようになり、私たちもとても嬉しく感じました。教え合ったり、励まし合ったりする姿もとても素敵で、頼もしさも感じました。もちろん、丸森小学校の先生方の大変なご尽力があったことはいまでもありません。

「青葉の田植え踊り」は、宮城県指定無形民俗文化財となっており、美しい振りや御詠歌のような節回しが特徴的なとても素敵な踊りです。後世に末永く伝えていかなければならないものです。子供たちが小学校で体験した郷土の踊りに興味を持ち、また踊ってみたいと思ってもらえたら、この上ない喜びです。

このような機会を与えてくださり、大変ありがとうございました。



○教職員の声

令和4年度に丸森町内の5つの小学校が再編され、新丸森小学校がスタートして2年目となりました。3年生の総合的な学習の時間の学習として、大内地区の「青葉の田植え踊り」に昨年度から取り組んでいます。今年度も、田植え踊り保存会の方々を講師としてお招きし、口上や踊りを教えていただきました。田植え踊りは、「鈴」、「綾竹」、「扇子」、「銭太鼓」という道具を使って、米の豊作を願って踊られています。

今年度は、昨年度取り組んだ踊りに加え、扇子と銭太鼓を使って踊る「先代田植え」にも挑戦しました。子供たちは、道具の華やかさや苗を植えているような振り付けに魅力を感じ、次の練習を楽しみにするほど興味をもって取り組んでいました。体験をとおして学んだ田植え踊りの魅力を、より多くの人にも知ってもらいたいという思いを持つことができました。

（金子 航太 先生）



○教育事務所から

地域の伝統文化である「青葉の田植え踊り」を伝承する地域の方々から、踊り方だけでなく地域の伝統文化のすばらしさを学び、多くの人に踊りと地域の思いを伝えようとする子供たちの姿から、ふるさとへの愛着の深まりが感じられました。



丸森町立丸森小学校

〒981-2156 伊具郡丸森町字菱川内39番地1
 電話 0224-72-2140 FAX 0224-72-2164

児童数 262名

ふるさと学習



丸森・筆雨・大内・小斎・金山地区の伝統、文化に触れ、ふるさと丸森を学んでいます。

丸森和紙卒業証書づくり



6年生が自分の卒業証書を丹精込めてすき、作成しました。

米づくり活動



農家の方や地域の方々から指導を受け、5年生が米作りを体験しました。



丸森町立館矢間小学校

〒981-2102

宮城県伊具郡丸森町館矢間館山字玉川29-1

TEL 0224-72-2148 FAX 0224-72-2169 URL

<https://www.town.marumori.miyagi.jp/school/tate-sho/>

児童数 195人 PTA 会員 154人

防災教育・ふるさと教育(大張地区, 館矢間地区, 耕野地区)



丸森未来防災フェスタ2022



大張地区で蚕の学習



館矢間地区で松掛神楽の伝承



耕野地区で柿の収穫



丸森町立丸森中学校

〒981-2167 宮城県伊具郡丸森町田町24番地2

TEL 0224-72-2145 FAX 0224-72-1516

生徒数 255名 P 会員数 226名



職業人講話



地域の方から職業や生き方についての講話をいただき、将来について考えます。

防災学習



地域の災害特性や中学生の役割を学び、地域防災に貢献する気持ちを高めます。

地域行事への参加



宵連幻夜をはじめとした地域行事に参加し、地域の中で活躍します。

仙南地域の地域学校協働活動

1 今年度の事業への取組について

視聴覚教材センター（あずなびあ）では、視聴覚教材・機材の整備・貸出、各行事の YouTube 配信支援、自作教材の作成支援（映像編集等）を行っている。

仙南芸術文化センター（えずこホール）では世代を超えて、広く芸術文化に触れる機会を提供できるよう積極的に事業を展開した。また、今年度は「かえっこバザール」を開催し、コロナ禍前の集客と賑わいが見られた。

2 事業紹介

（1）家庭教育支援

事業名	内容	備考
あそてん！ ～あそびの天才～	「えず☆スタ」から「あそてん！～あそびの天才～」に名称を変更して、今年度はコロナ禍前と同規模で開催。「かえっこバザール」も開催し、多くの親子連れで賑わった。様々なワークショップを通じて地域の方々と交流を図る複合的なアートプログラムとして開催。 会場：仙南芸術文化センター、大河原町総合体育館	対象：圏域住民 来場者：1,569名
えずっこひろば	仙南芸術文化センター（えずこホール）の住民創造グループの1つである託児ボランティア（えずこキッズクラブ）が月1回開催。	対象：子育て中の親子



【あそてん！2023】



【えずっこひろば】



（2）地域活動支援

事業名	内容	備考
視聴覚教材・機材の整備及び貸出事業	圏域内の学校教育・社会教育関係団体向けに、無料で貸出を行っている。	対象：圏域内学校・社会教育関係団体
各種講座及び学習機会提供（おでかけ！あずなびあ！）事業	学校教育及び社会教育において教育メディアを効果的に活用するため、各種講座を実施。	対象：圏域住民
うるおいの圏民参加体験事業 （ワークショップ事業）	えずこホールで、ゴスペルやダンス、演劇、照明・音響等、幅広いジャンルを入門編として分かりやすく、楽しい講座を展開している。	対象：圏域住民



【各種講座及び学習機会提供事業】

【ワークショップ事業】

(3) 学校教育支援

事業名	内容	備考
職場体験	消防署やえぞこホールにおいて、職場体験を実施。	対象：圏域内中学生・高校生
うるおいの圏民参加体験事業 (アウトリーチ事業)	トップクラスのアーティストによるアウトリーチ事業。小学校等で学校の授業の一環として事業を展開。	対象：小・中学校



【職場体験】

【アウトリーチ事業】

(4) その他

事業名	内容	備考
人材育成事業 (AZ9 ジュニア・アクターズ養成事業)	次代を担う子供たちと地域の文化を「はぐくむ」ことをテーマとし、高度な総合芸術である演劇をとおして、将来の文化活動を担う人材育成を図る。	対象：圏域内小学3～6年生
地域学習教材制作の促進と保存事業	地域学習に効果的な自作視聴覚教材制作の支援、利用促進を図る。	対象：圏域内住民

3 成果と課題

(1) 成果

- ・ 「あそてん」は規模をコロナ禍前に戻し、「かえっこバザール」も再開した。来場者は関係者を含め1,700名以上と多くの親子で賑わった。様々なブースを展開し、活気に溢れていた。
- ・ 各種講座及び学習機会提供事業について、主催講座は撮影講座、無料ソフトを使用したパソコン動画編集講座を実施。また、教育施設より依頼を受け、スフィロ（ボール型ロボット）を使用したプログラミング体験や、ヴァイオリンやチェロの演奏体験など、子供たちに様々な学習機会を提供することができた。

(2) 課題

- ・ 「あそてん！」について、対応するスタッフの人数不足が見られたところがあるのでスタッフの配置について見直す必要がある。
- ・ YouTube 配信支援について学校からの需要が高まっているが、機材のセッティングから配信までの設定に対応できる先生は少ないので、徐々に広めていきたい。